

2. 未来に伝える歴史と文化

あさぶ亜麻保存会

～亜麻から広がるまちづくり～

あさぶ亜麻保存会 事務局長 **喜多 洋子**

亜麻保存会ができて、今年で8年目になります。町内会の方や商店街の方たちと一緒に、麻生のまちの街路の植樹ますに観賞用の亜麻の花を植えたり、小学校などで、麻生の町名の由来となった亜麻工場の歴史などの授業を行っています。また、亜麻の糸を使った手芸講座を企画したり、イベントなどで、亜麻の実を練りこんだ亜麻そばの販売をしています。地域の企業の方から協賛金をいただいたり、町内会、地域の方から会費をいただいたりして、運営しています。

今年は、広報さっぽろ5月号に亜麻保存会の活動の様子が掲載されたことがきっかけで、小学生から何か手伝えることがないかと連絡がきて、あさぶ商店街駐車場付近での亜麻の種植えを手伝ってもらいました。広報さっぽろを読んで、自ら、主体的に関わりたい！と声を掛けてくれたことがうれしかったです。歴史だけでなく、まちづくりに関わってほしいという私たちの想いが伝わったんだなと思うと、とても感慨深い出来事でした。

また、亜麻の歴史の授業を受けた小学生から、亜麻新聞を作成して、北海道新聞の子ども新聞コンクールに出したいと連絡が来たりと、地域の子どもたちに亜麻のことが確かに伝わっていることが実感でき、とてもとてもうれしい1年でした。



亜麻の種

麻生の地域だけでなく、さまざまな地域から、

種がほしいと連絡をいただきます。

薄紫色の可憐な花は、風にそよぎ、とてもきれいで、お花の良さを知っていただいて、育てたいと言ってくれる方にとっても感謝しています。遠くは、愛媛県から問い合わせがあり、花だけでなく、繊維を取り出してみたいという方からの問い合わせも多くなってきています。



亜麻の実は、オメガ3脂肪酸が豊富で、亜麻仁油やサプリメントもあります。当別の無農薬の亜麻を使い亜麻公社などが販売しています。少し、お値段は高いですが、地産地消で顔の見える商品は、安心です。麻生では、商店街が亜麻の実が入った亜麻そば乾麺やスイーツを販売しています。スイーツは、藤女子大学のサークル“TFT-Fuji”がレシピを考案し、“菓子樹”さんの協力を得て作っています。平成30年も、毎年参加している当別町の亜麻まつり(7月第2日曜日)や百合が原公園で開催されたイベントで、そばやスイーツの販売を行いました。



あさぶというまちの名前の由来

“あさぶ”というまちの名前は、明治23年に建設が始まり翌24年に操業を開始した亜麻の茎から繊維を採る工場(帝国製麻琴似亜麻工場)が麻生にあったことからきています。最後の工場長が、麻が生きるまち、「麻生(あさぶ)」というまちの

名前を提案し、これに賛同する人に署名を呼び掛けて、昭和 34 年に麻生町という地名が誕生しました。亜麻という植物は、実にも栄養があるし、お花もきれいです。茎から丈夫な繊維が採れるのです。軍事産業とともに、全道に広がった亜麻工場。麻生にあった工場は、北海道で、2 番目にできた亜麻工場だそうです。

亜麻の記録冊子

平成 28 年から、北区の亜麻に関する歴史を記録伝承する冊子をつくろうと、準備が始まりました。北区地域振興課の支援を受け、あさぶ亜麻保存会のメンバー、さっぽろ青少年女性活動協会の方などで、亜麻記録冊子作成実行委員会(会長 宮崎正晴)を立ち上げ、定期的に会議を開催。子どもたちに歴史をつないでいきたいという想いで、小学校の授業で副読本として活用してもらえるものを作ろうと、作業を進めてきました。平成 31 年 3 月に完成し、近隣の小学校などに配布予定です。

札幌市の公文書館から、航空写真をいただき、当時の工場や倉庫、従業員の方が生活していた住まい、浸水槽などが鮮明に写る写真を発見し、当時の麻生の亜麻工場を知る方に、生活の様子をお聴きしました。航空写真とのお話から、亜麻工場があった当時の周辺地図を札幌市立大学の学生がイラストに描いてくれました。



文章は、麻生に親交の深い元新聞記者の方が書き起こし、それを基に、和光小学校の先生にも会議に参加していただき、何度も文章を推敲し、完成させました。亜麻工場を知る方を新聞で募り、お話を伺うことで、当時の様子をリアルに感じる事ができ、取材に協力してくださった方に感謝しています。本当に、亜麻の歴史を残すという一つの使命を果たすために、たくさんの方の協力が

あったことに感謝の気持ちでいっぱいです。

まちづくり

私は実家が新琴似で、小中学校の友人が麻生に住んでいました。松の木がどうして道路の真ん中にあるんだろうと当時思っていたのですが、麻生のまちづくりに関わって、ようやくわかりました。亜麻工場の工場長の家の前にあったアカマツ。1 本だけですが、歴史を伝えるものとして残っていてくれてほんとはよかったです。残してくれた周辺の方々に感謝です。



歴史を知ることで、まちに愛着が生まれます。子どもたちや地域に歴史を伝え、亜麻の花を通して“あさぶのまち”をあたたかい支え合う地域にできたらいいなと思います。広報さっぽろを見て、連絡をくれた小学生のように、主体的に行動してまちをよくしたい！という方をもっと増やし、活動を広げていきたいです。

皆さんもあさぶ亜麻保存会でまちづくりしてみませんか？お花の手入れが得意な方、亜麻の花に関心がある方、あたたかいまちづくりに関心がある方などなど、一緒に楽しく活動したいと思う方の連絡をお待ちしています。また、活動はできないけれど、寄付をしたいという方も大歓迎です。寄付も“まちづくり参加”の一つなので、思いを受け止め活動していきたいです。

あさぶ亜麻保存会では会員を募集しています。年会費は個人が一口1000円、団体が一口2000円以上となっています。関心のある方は下記までお問い合わせください。

○お問い合わせ

あさぶ亜麻保存会
TEL. 011-728-3700 (café亜麻人内)